

あま市本庁舎基本設計
第4回基本設計委員会



平成29年8月30日

1. 第3回基本設計委員会のおさらい

(1)平成28年度基本設計委員会の実施状況

第1回 基本設計委員会 (平成28年12月28日(水))

- 1 庁舎整備に関する検討経過
- 2 基本設計委員会と市民ミーティングの役割
- 3 全体スケジュール
- 4 関連計画における庁舎の位置付け
- 5 設計主旨・コンセプト(素案)
- 6 設計条件の検討・整理すべき事項
- 7 建物耐震性計画、敷地造成の考え方(素案)及び検討ポイント

第2回 基本設計委員会 (平成29年2月10日(金))

- 1 第1回基本設計委員会のおさらい
 - 2 設計主旨・コンセプト(案)
 - 3 設計条件の検討・整理すべき事項
 - 4 検討・整理すべき事項の
取りまとめ・報告
 - 5 中間取りまとめ(案)
- ※ 第2回基本設計委員会までの内容をもとに、中間取りまとめを作成し、パブリックコメントを実施

第3回 基本設計委員会 (平成29年3月30日(木))

- 1 第2回基本設計委員会のおさらい
- 2 中間とりまとめに関する意見募集の結果
- 3 設計主旨・コンセプト
- 4 設計条件の検討・整理すべき事項
- 5 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告
- 6 平成29年度スケジュール

1. 第3回基本設計委員会のおさらい

(2)平成29年度基本設計委員会の進め方

《本日》

第4回 基本設計委員会 (平成29年8月30日(水))

- 1 第3回基本設計委員会のおさらい
- 2 設計条件の検討・整理すべき事項
- 3 検討・整理すべき事項の
取りまとめ・報告
- 4 事業スケジュール

第5回 基本設計委員会 (平成29年11月2日(木)) 予定

- 1 基本設計成果の報告
- 2 市民ミーティング結果の報告
- 3 事業スケジュール(案)の報告

※第5回基本設計委員会までの内容
をもとに、最終取りまとめ(案)を
作成し、パブリックコメントを実施

第6回 基本設計委員会 (平成30年3月予定)

- 1 最終パブリックコメントの
結果報告
- 2 基本設計最終成果物の報告
- 3 事業スケジュールの報告

※平成29年12月(予定)の最終パブリックコメントにて、基本設計の成果を
お示しします。

1. 第3回基本設計委員会のおさらい

(3) 検討事項に対する第3回基本設計委員会での意見のまとめ

■ 防災機能

- 防災拠点機能として備える諸条件を整理すること
 - 災害時の広場の必要性について検討すること
 - 時間軸を意識した災害時対応について検討すること
 - 災害時のボランティア活動センター機能を確保した場合の対応について検討すること
 - 災害時対応経験のある自治体へのヒアリングが有効
- ⇒ 中枢防災拠点として必要な機能について別途検討を進め、3(2)敷地造成に関する検討、(3)建物耐震構造に関する検討、(4)ライフラインに関する検討にて反映

■ 行政機能

- 北側(正面)玄関の北風対策等を検討すること
 - 市民サービス機能を含む執務機能、行政機能について検討すること
- ⇒ 3(6)平面計画に関する検討にて反映

■ 周辺環境

- 自然エネルギー利用や環境調和について検討すること
- ⇒ 3(5)環境配慮計画に関する検討にて反映

2. 基本設計における設計条件の検討・整理すべき事項

(1) 中枢防災拠点として市民の安全安心を守る庁舎

| 項目 | 設計条件・課題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○耐震性能が高く浸水への備えも万全な、あらゆる災害に強い庁舎 ○災害時に電気や水などのインフラが寸断されても機能する自立型の庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> ○中枢防災拠点としての必要機能 ○平常時と非常時の両面において機能や配置の検討が必要 ○広域支援部隊の参集活動空間・中枢防災拠点としての機能維持 ○想定される災害等リスクに対応できる構造等の確保 ○建設地は軟弱で盛土沈下や液状化が想定される ○「防災・活力連携拠点」としての活用機能 ○平時から市民の防災意識を高めるための意識啓発や情報発信が重要 |



| 検討・整理事項 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①備えるべき防災機能の検討 (ハリポート、災害対応車両参集対応、ライフライン) ②市地域防災計画の検討 ③浸水リスクの把握・整理 ④想定地震被害(断層、液状化) ⑤敷地造成計画の検討 (盛土造成上の耐震工事計画を含む) ⑥建物耐震構造の検討 |

(2) 行政機能の拠点として市民が利用しやすい庁舎

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○多様な交通アクセスへの対応やバリアフリー化など、すべての人が利用しやすい庁舎 ○統合庁舎としてあらゆる手続きがワンストップでスムーズにできる庁舎 ○歩車分離や、使いやすい広場など安全に十分な配慮が行き届いた庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> ○円滑な来庁アクセス環境の確保 ○東側道路は交通量が多い ○北側、西側、南側道路は、幅員が狭く歩道が未整備 ○駐車場の機能 ○誰にでも利用しやすい庁舎の整備 |
|--|--|



| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ⑦県道及び外周道路の整備検討 ⑧来庁者アクセス道路の検討 (徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等) ⑨外周道路等の拡幅による面積不足への対応検討 ⑩立体駐車場の検討 ⑪保健センター機能等の重複機能集約 ⑫ワンストップサービスの実現 |
|--|

2. 基本設計における設計条件の検討・整理すべき事項

(3) 市民の交流拠点としてすべての人に親しみやすい庁舎

| 項目 | 設計条件・課題 | 検討・整理事項 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動が日常的にできる場を設け、活力やにぎわいが創出される拠点にふさわしい庁舎 ○市民の憩いの場として親しまれるよう、あま市らしさを感じられる庁舎 ○情報発信が行いやすく、市民と行政の対話型の運営ができる庁舎 ○ホスピタリティあふれる庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> ○市民目線からの庁舎機能整備 ○にぎわいの創出と利便性 ○「居住環境維持・向上地」としての土地利用との整合性 ○広場の使い方や安全性確保 | <ul style="list-style-type: none"> ⑬交流促進のための庁舎計画の検討 ⑭地区計画内開発として東側集落のまちづくりとの調和 ⑮市民の使いやすさを考慮した敷地内レイアウトの検討 ⑯市民活動スペースの設置 ⑰市民目線からの新庁舎に期待する機能・備えるべき機能 |

(4) 環境と共生する人にも自然にもやさしい庁舎

| | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然の恵みを大切に、敷地周辺の環境と調和のとれた庁舎 ○省エネ性能に優れ、自然エネルギーを上手に生かした環境負荷を最小とする庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> ○周辺環境との調和 ○環境負荷の低減 | <ul style="list-style-type: none"> ⑱周辺環境の保全検討 ⑲省エネ・自然エネルギー利用の検討 |
|---|---|---|

(5) ライフサイクルコストに優れた経済的かつ長寿命な庁舎

| | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○シンプルで無駄がなく、安全性や機能性を重視した庁舎 ○多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応できる柔軟で機能的な執務スペースを備えた庁舎 ○建設コストから維持管理費の縮減までトータルなライフサイクルコストに優れた庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> ○行政の効率化・部課間の連携のしやすさのための事務機能の集約 ○建設コストの縮減 ○維持管理コストの縮減 ○メンテナンスのしやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ⑳シンプルで無駄がなく、安全性・機能性・効率性を重視した計画の検討 ㉑多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応できる柔軟で機能的な執務スペースの整備 ㉒建設コスト・維持管理費までのライフサイクルコストに優れた庁舎の検討 |
|---|--|--|

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 中枢防災拠点として必要な機能確保に向けた考え方

※中枢防災拠点として、科学的に発生の可能性が指摘される地震や水害などの災害に対して、必要十分な構造や機能を確保することは当然のことであるが・・・

水防法レベルでは・・・
予測等される災害の発生確率は、**数百年から数千年に一度**とも換算されている



庁舎の耐用年数は・・・
一般的には**50年程度**とされている

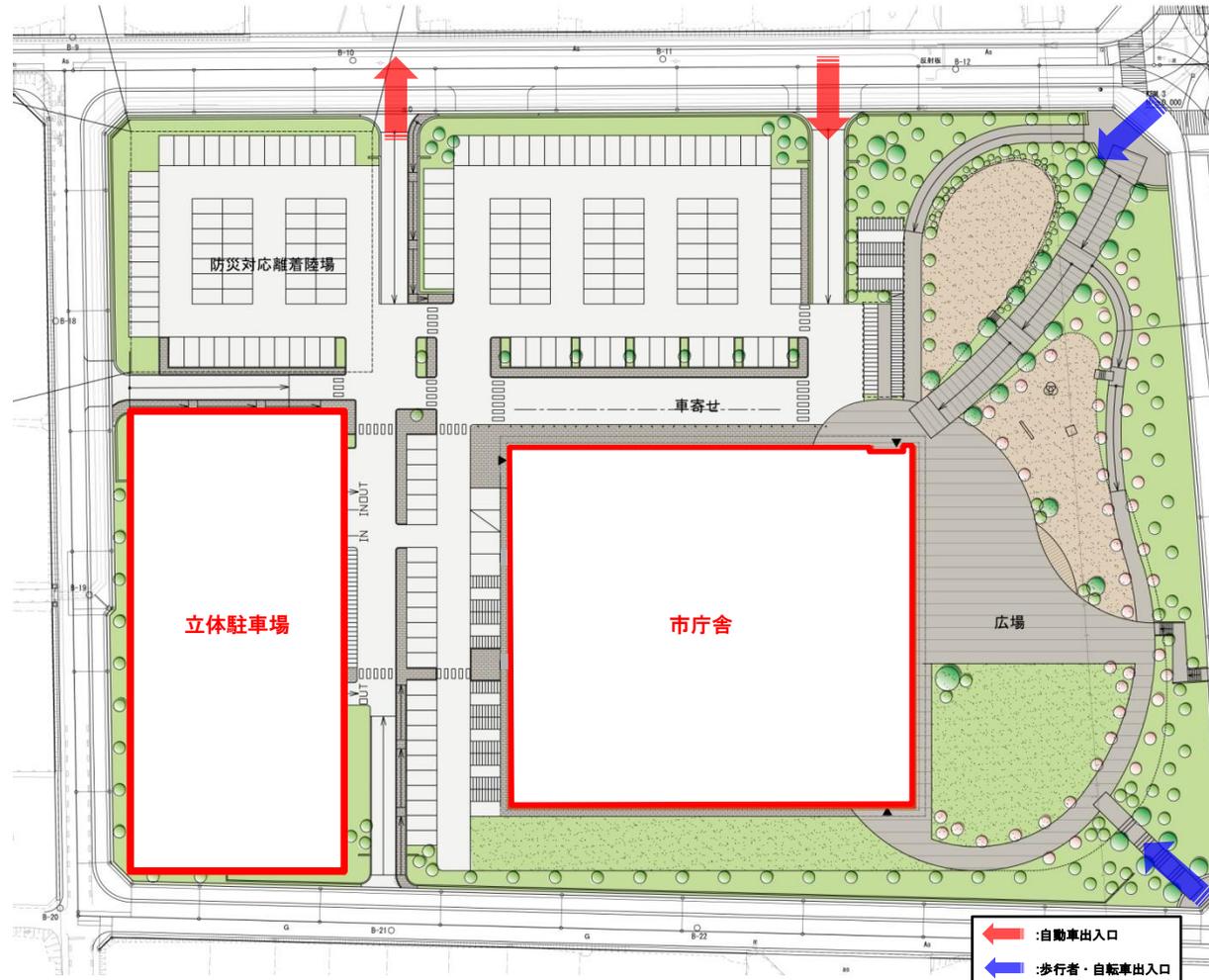


- ある程度以上の災害発生に対しては、その発生被害を全くゼロにするのではなく、ある程度の損傷発生などを許容する想定のもと、過度な構造及び事業費計上を回避することが重要となる。
- 併せて、その損傷を見越した復旧資材や対策訓練マニュアルなどを整備するとともに、バックアップ対策による補完を含めた必要機能の確保を図ることで、災害時の迅速な被災者支援を維持していく必要がある。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(2) 敷地造成に関する検討

① 配置計画の検討



※敷地内のレイアウト等については、現段階における(案)ですので、今後の調整によって内容は変更します。

○市庁舎

敷地のほぼ中央に配置し、周辺環境への影響が最も少ない計画

○駐車場

- ・敷地北側・西側に配置し、北側市道に緊急車両の進入も想定したメイン出入口を設ける
- ・災害時には広域支援部隊の活動スペースを想定

○立体駐車場

- ・平常時は一定量の駐車台数を確保
- ・災害時には救援物資の受入スペースとしての活用も想定

○広場

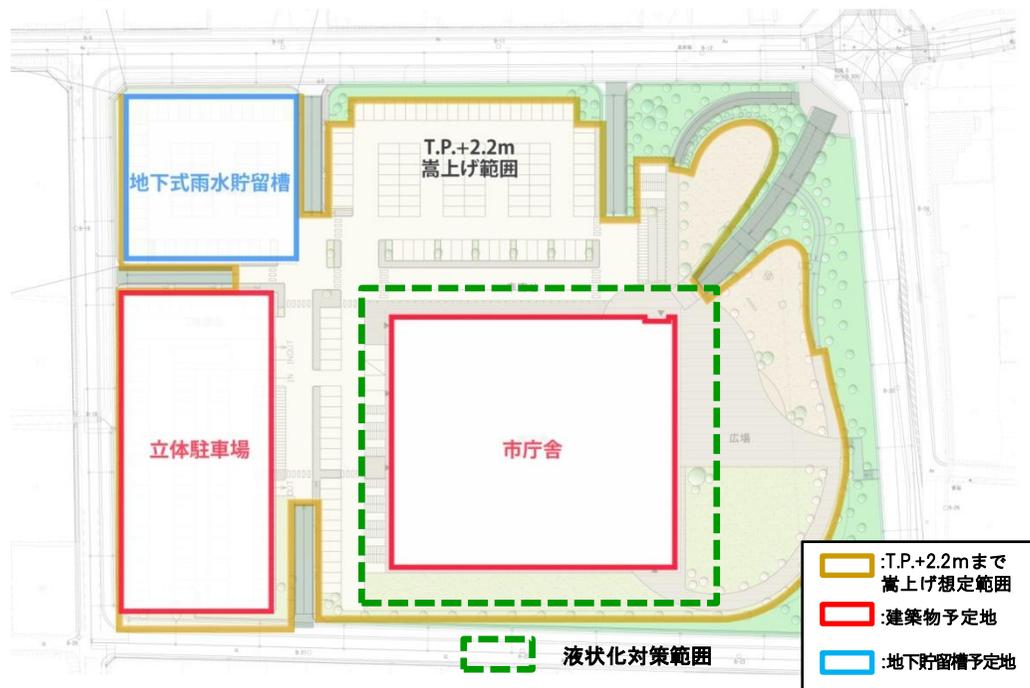
- ・敷地東側に配置し、県道側への緩衝緑地を兼ねるとともに、東側集落との連続性を考慮
- ・災害時には広域支援部隊の活動スペースを想定

**※歩車分離を徹底した安全で
バリアフリーな計画とします。**

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(2) 敷地造成に関する検討

② 敷地造成計画の検討



| 項目 | 対策 |
|-------|---|
| 防災盛土 | ○浸水対策として敷地の大半をTP+2.2mの盛土造成を行う ○外周は景観配慮と圧迫感低減のため緑地を整備 |
| 液状化対策 | ○新庁舎の建物下は液状化対策を実施 |
| 雨水貯留 | ○敷地等の集中豪雨対策として地下式雨水貯留槽を設置 |

- 庁舎計画地は、地盤の嵩上げによる浸水リスクへの十分な備えを講じます。
また、良質土による高盛土を行い、液状化に対する影響を極力小さくします。
- ただし、災害対策本部となる新庁舎の建物下においては、耐震性を確保するため、液状化対策を行います。
- 本整備事業では、保水機能に優れた水田を開発することによる影響を考慮して、敷地内に地下式雨水貯留槽を設置します。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(2) 敷地造成に関する検討

③備えるべき防災機能の検討

《 北側駐車場・東側広場 》

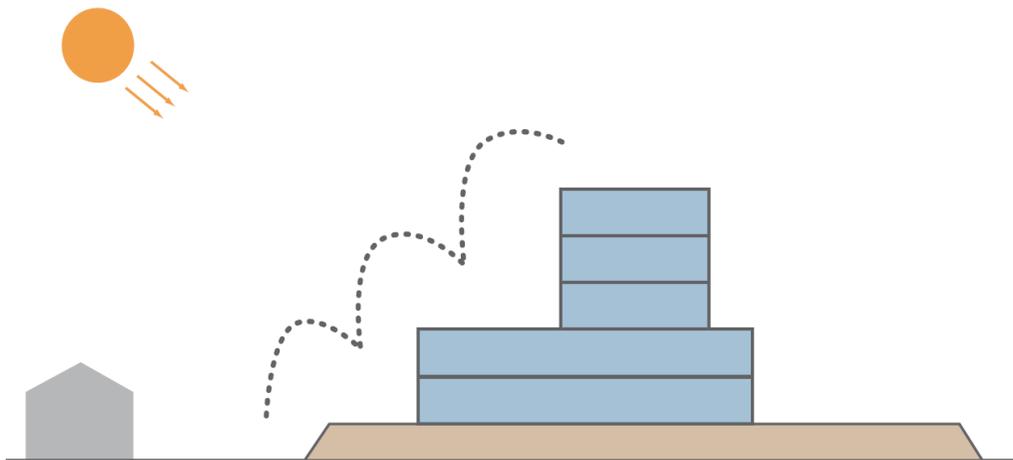
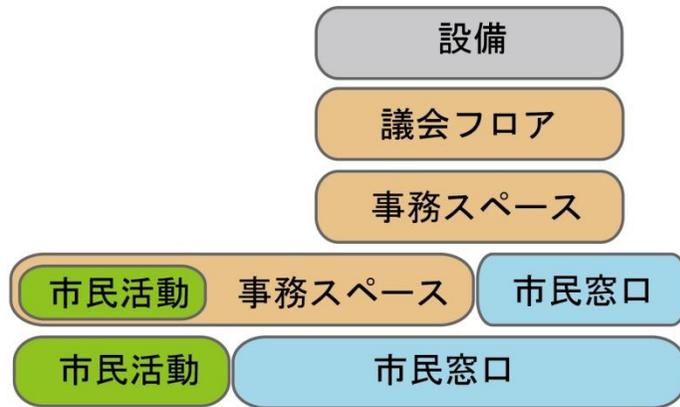
| 役割 | 機能 | 対応策 | バックアップ対策 |
|-------------|------------------------------|---------------------------------------|--|
| 救援・救護 復旧 | 支援部隊の集結・ 活動のベースキャンプ 機能 | ○盛土高の確保 ○活動に必要な空間の 確保 ○動線の確保 | 液状化被害の応急修繕に 対応するための民間事業者との 応援協定等 |

※あま市地域防災計画の見直し（平成29年度実施中）において、敷地内で想定すべき各種防災機能について反映できるよう、引き続き検討してまいります。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 建物構造に関する検討

① 建物断面構成の検討



○利用者の多い窓口部門と市民利用機能を低層階に集約することにより、市民にとって利便性の高いフロア配置とする。

○多くのスペースが必要な市民窓口、市民活動スペースのある1,2階の面積を十分に確保する。

○庁舎の事務フロア(3,4階)及び設備室(5階)は、極力効率的に活用できるオフィスとして面積を絞った形状とする。

○全体的に、上階に行くほど、セットバックして、段状の外観とすることで、周辺への圧迫感を和らげる

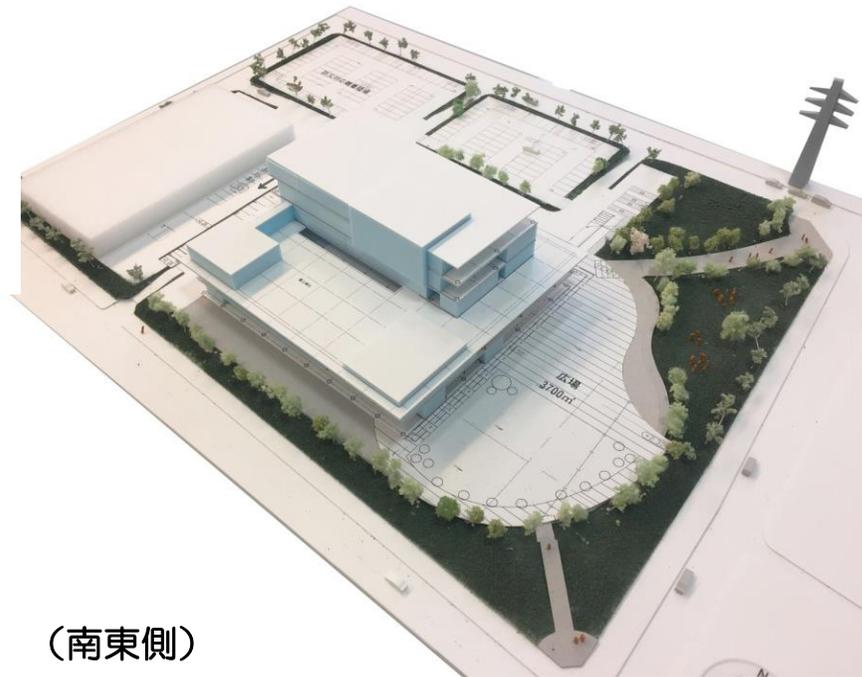
3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 建物構造に関する検討

② 外観イメージ



(北東側)



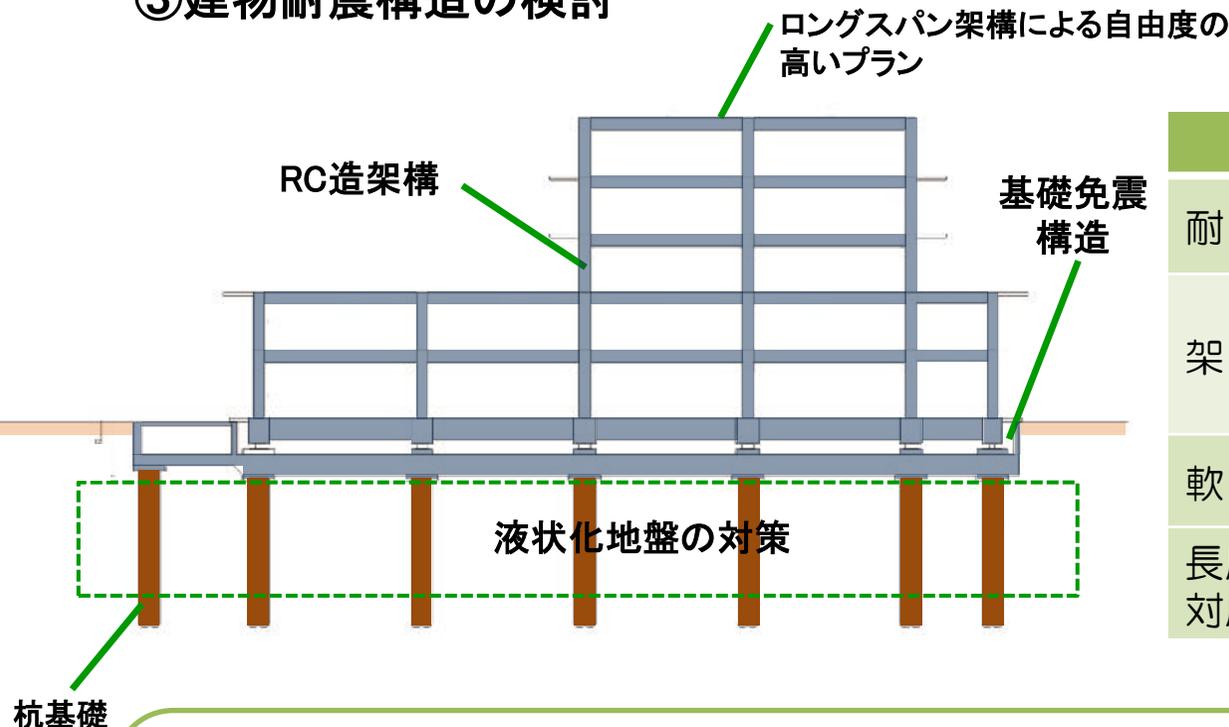
(南東側)

※あくまでイメージですので、今後変更することがあります。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 建物構造に関する検討

③ 建物耐震構造の検討



| 項目 | 対策 |
|------------|---------------------------------------|
| 耐震性確保 | ○免震構造の採用 |
| 架構計画 | ○剛性の高いRC造の採用 ○ロングスパン架構による自由度の高いプラン |
| 軟弱地盤対策 | ○液状化対策及び杭基礎 |
| 長周期地震動への対応 | ○免震装置の最適配置 |

- 各構造を比較検討した結果、耐震安全性に優れ、地震直後の事業継続性も高いことから、免震構造を採用し、液状化地盤の対策を同時に行うことにより、地震時の被害を最小限に留めます。
- 架構剛性の高いRC（鉄筋コンクリート）造を採用するとともに、強固な支持層に深く杭を打ち込み、構造物を支える基礎構造とします。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 建物構造に関する検討

④ 備えるべき防災機能の検討 《 庁舎 》

| 役割 | 機能 | 対応策 | バックアップ対策 |
|-------|-----------|------------------------------------|-------------------|
| 普及・啓発 | 防災・減災啓発機能 | ○盛土高の確保 ○液状化対策 ○建物の安全性(免震構造) | 万一に備えた代替施設の 検討 |
| 人材育成 | 防災教育・訓練機能 | | |
| 指令・調整 | 指令本部機能 | | |

《 立体駐車場 》

※立体駐車場については、庁舎の附属建物として、大地震の際には、部分的な損傷は生じるものの、建物の耐力の低下は著しくなく、災害時においても機能の維持確保が図られる構造とします。

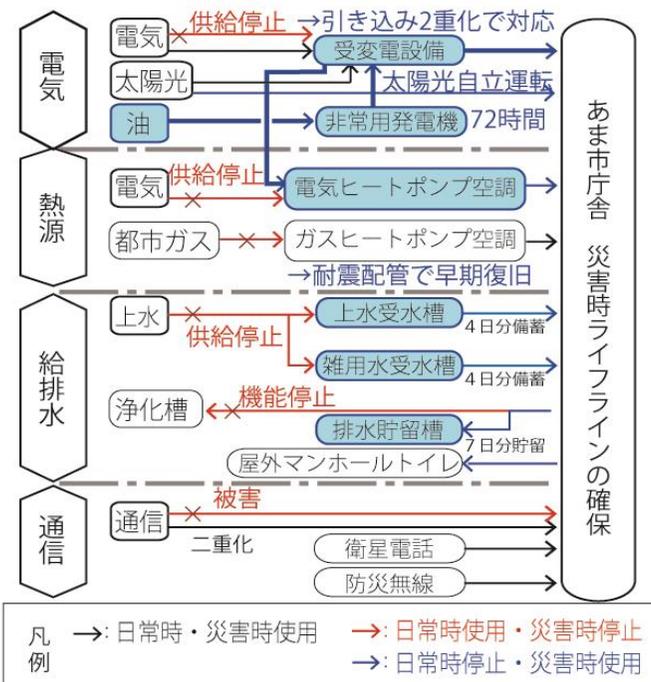
| 役割 | 機能 | 対応策 | バックアップ対策 |
|-------------|----------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 救援・救護 復旧 | 救援物資の受入れ、 中継・分配機能 | ○盛土高の確保 ○建物の安全性(杭基礎) | 受入物資が想定を 上回った場合の代替 施設の検討 |

※あま市地域防災計画の見直し（平成29年度実施中）において、中枢防災拠点としての役割について反映できるよう、引き続き検討してまいります。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) ライフラインに関する検討

《設備概要》

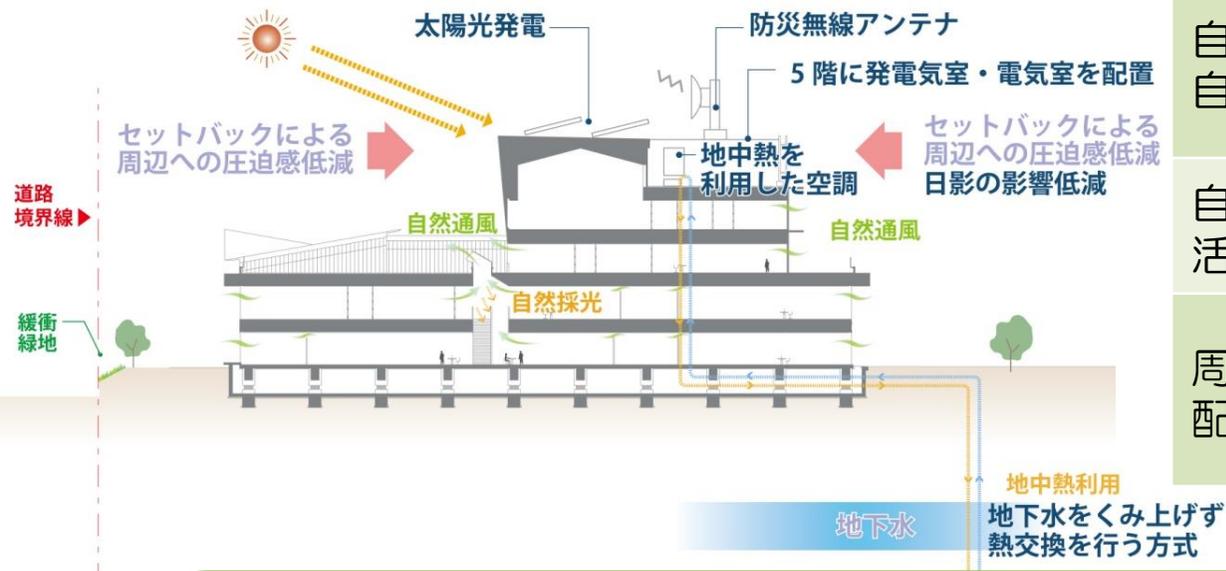


| 区分 | 内容 |
|-------|-----------------------------|
| 電力 | ○引き込みの2系統化 ○太陽光(20KW)の設置 |
| 非常用発電 | ○非常用発電機の設置 |
| 熱源 | ○電気及びガスの複合化 |
| 給水 | ○受水槽容量を4日間確保 |
| 排水 | ○排水貯留槽容量を7日間確保 |
| 通信 | ○防災無線・衛星電話 |

- 受電については、本線・予備線の2回線引き込みによる電源の信頼性の向上を図り、非常用発電は72時間分の電力を確保します。
- 熱源については、電気とガスの複合熱源とすることにより、災害時のバックアップ化を図るとともに、より安定した空調熱源を供給します。
- 上水及び雑用水の備蓄並びに排水貯留槽の設置により、災害時における一定期間の給排水機能を確保します。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(5) 環境配慮計画に関する検討



| 項目 | 対策 |
|---------------|--------------------------------|
| 自然採光 自然採通風 | ○庇や開閉可能な窓により、明るく、風通しのよい執務環境の実現 |
| 自然エネルギーの活用 | ○太陽光発電設備の整備 ○地中熱利用空調システム |
| 周辺環境への配慮 | ○上階セットバックによる圧迫感低減 ○敷地外周の緑化 |

- トップライトによる自然採光や自然換気窓による自然通風を確保し、環境負荷の低減を図ります。
- 活用可能な自然エネルギーとして、高い地下水位を利用した地中熱利用や太陽光発電設備を設置し、省エネルギー化を図ります。
- 地球温暖化への配慮や資源の有効活用等を踏まえた環境性能については、愛知県の地域特性や関連する条例等諸制度を踏まえた建築物総合環境性能評価システム(CASBEE※あいち)における上位ランクの評価を目指します。

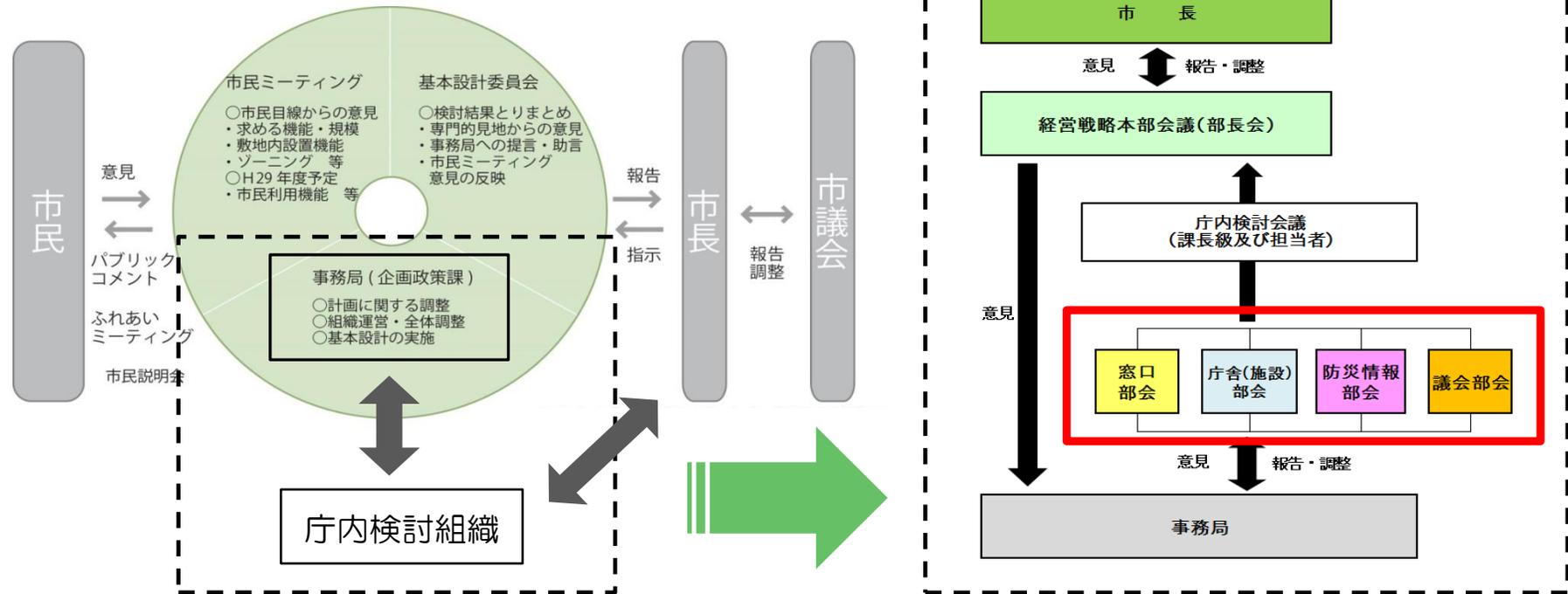
※CASBEE(キャスビー)：設計段階における省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の仕様といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物品質を総合的に評価するシステム

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

① 検討体制の拡充（庁内検討部会の設置）

《検討体制のイメージ》



○あま市本庁舎基本設計業務は、市民ミーティングや、基本設計委員会など、市民の皆様にご参加いただきながら「市民参加型」の庁舎作りを進めている中で、行政として安全性に優れ、効率的で機能的な庁舎整備ができるよう、各機能について担当部局で構成する部会を設置し、庁内検討を進めています。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

① 検討体制の拡充（庁内検討部会の設置）

《 各部会における検討体制について 》

| 部会名 | 主な検討内容 | 担当部署 | |
|----------|--|-------|-------------------------------|
| 窓口部会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ワンストップサービスに関すること（総合窓口など） ○窓口部門の配置計画・処理方法等に関すること ○案内機能に関すること ○窓口事務におけるその他施設との連携に関すること ○その他窓口サービスに関すること | 企画財政部 | 企画政策課、人権推進課 |
| | | 総務部 | 税務課、収納課、七宝市民SC、美和市民SC、甚目寺市民SC |
| | | 市民生活部 | 市民課、保険医療課、環境衛生課 |
| | | 福祉部 | 社会福祉課、高齢福祉課、子育て支援課 |
| | | 会計 | 会計課 |
| | | 上下水道部 | 上水道課、下水道課 |
| | | 教育部 | 学校教育課 |
| 庁舎(施設)部会 | <ul style="list-style-type: none"> ○執務環境(会議室、書庫、倉庫含む)に関すること ○庁舎管理(セキュリティ)に関すること ○文書管理に関すること ○その他事務管理・施設管理に関すること | 企画財政部 | 企画政策課、人事秘書課、財政課 |
| | | 総務部 | 総務課、七宝市民SC、甚目寺市民SC |
| | | 教育部 | 生涯学習課、スポーツ課 |
| 防災情報部会 | <ul style="list-style-type: none"> ○防災・災害対策(インフラ関係)に関すること ○情報通信(イントラ含む)に関すること ○電話方式に関すること ○その他防災・情報通信に関すること | 企画財政部 | 企画政策課 |
| | | 総務部 | 総務課、安全安心課 |
| | | 建設産業部 | 都市計画課、土木課、産業振興課 |
| | | 上下水道部 | 上水道課、下水道課 |
| 議会部会 | ○議会機能に関すること | 議会事務局 | 議事課 |

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

② 分散機能集約に関する検討

- 新庁舎整備にあたり、建物規模を決定する条件整理の中で、現在独立している行政機能の集約分及び将来状況変化対応分を見込んで、延床面積12,000㎡と設定した。
- 検討対象とした機能は「市民活動センター機能」及び「保健センター機能」とし、それぞれの集約に係るメリット、デメリットを整理して検討を行った。

《 市民活動センター機能 》

- メリット
 - ・市民の交流拠点としての位置付け
 - ・既存施設の集約
- デメリット
 - ・1階フロアの面積確保



新庁舎に機能集約する

《 保健センター機能 》

- メリット
 - ・施設集約による効率的な運用が可能
 - ・既存施設の集約
- デメリット
 - ・庁舎機能に係る面積確保が困難
 - ・事業に係るイニシャルコストの増加

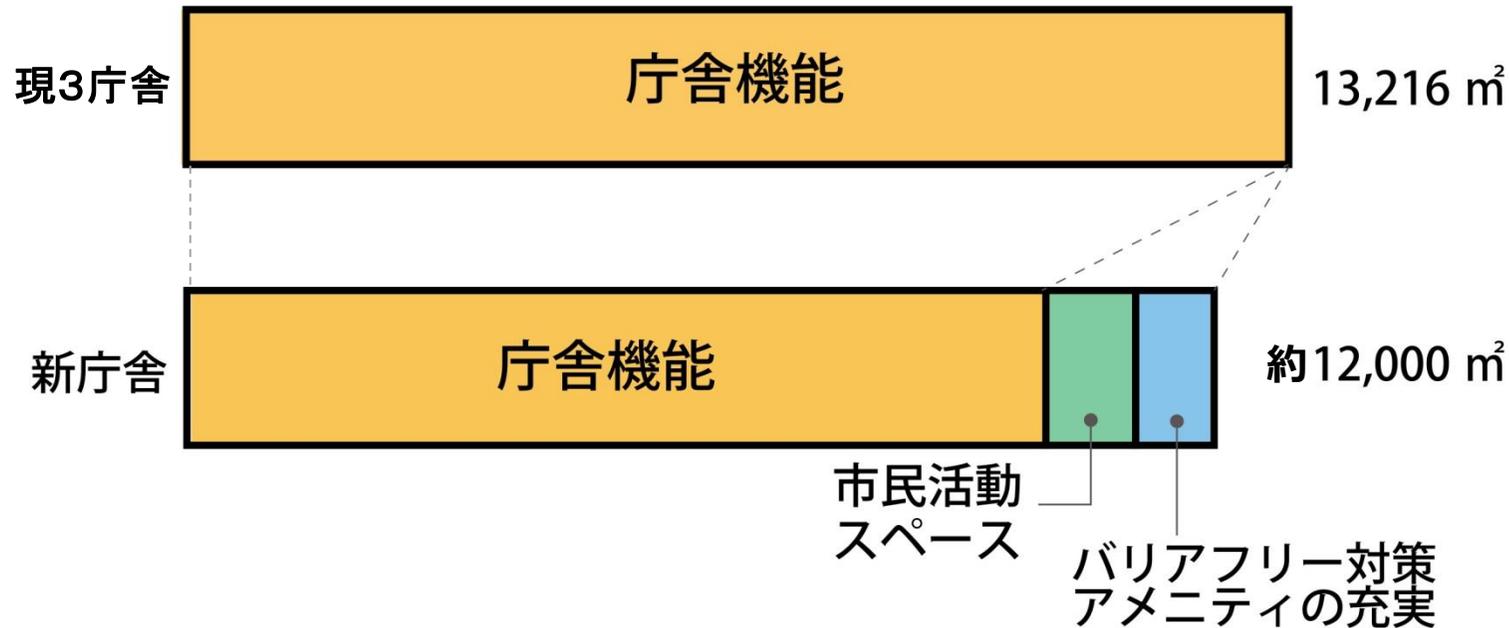


新庁舎に健康推進課(本課)を集約し、保健事業は既存施設を活用する

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

③ 規模決定に関する検討



○庁舎機能には、執務スペースはもとより、会議室や書庫等の必要機能を含め、効率的な利用を考慮した配置計画とすることで、できる限り現庁舎からの合理化、効率化を図ります。

○ユニバーサルデザインによる誰もが利用しやすい庁舎とするとともに、市民利用ができるスペースの充実を図ります。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

④ 市民窓口サービスに関する検討

《 窓口部会の実施状況 》

(ア) 検討の経緯

第1回 平成29年5月 9日 (火) 第3回 平成29年6月 9日 (金)
第2回 平成29年5月23日 (火) 第4回 平成29年6月16日 (金)

○ 検討内容

- ・ 市民が利用しやすく、職員が執務を進めやすい窓口形態の構築に向けて、あま市と同様のシステムを活用している岩倉市や浦安市などの先進自治体の事例を確認
- ・ 各課連携が必要となる対応事例を考えながら、ワークショップを実施



※第1回窓口部会の様子

(イ) 今後検討すべき事項

- 窓口形態の最終方針決定に向けて、実際の運用面を併せて、今後も引き続き庁内検討を進める必要がある

① 証明書交付窓口の設置検討



② 総合案内窓口の設置検討



※写真はイメージです。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《フロア構成(案)》

| 階 | 部署名等(案) |
|----|---|
| 5階 | 機械室、サーバー室 |
| 4階 | 議事課(議場、議会諸室) |
| 3階 | 企画政策課・人事秘書課(市長室、副市長室)・財政課・人権推進課 総務課・安全安心課(防災会議室) |
| 2階 | 環境衛生課 都市計画課・土木課・産業振興課 上水道課・下水道課 学校教育課・生涯学習課・スポーツ課(教育長室) 監査事務局 |
| 1階 | 税務課・収納課 市民課・保険医療課、健康推進課(本課のみ) 社会福祉課・高齢福祉課・子育て支援課 会計課 市民活動センター |

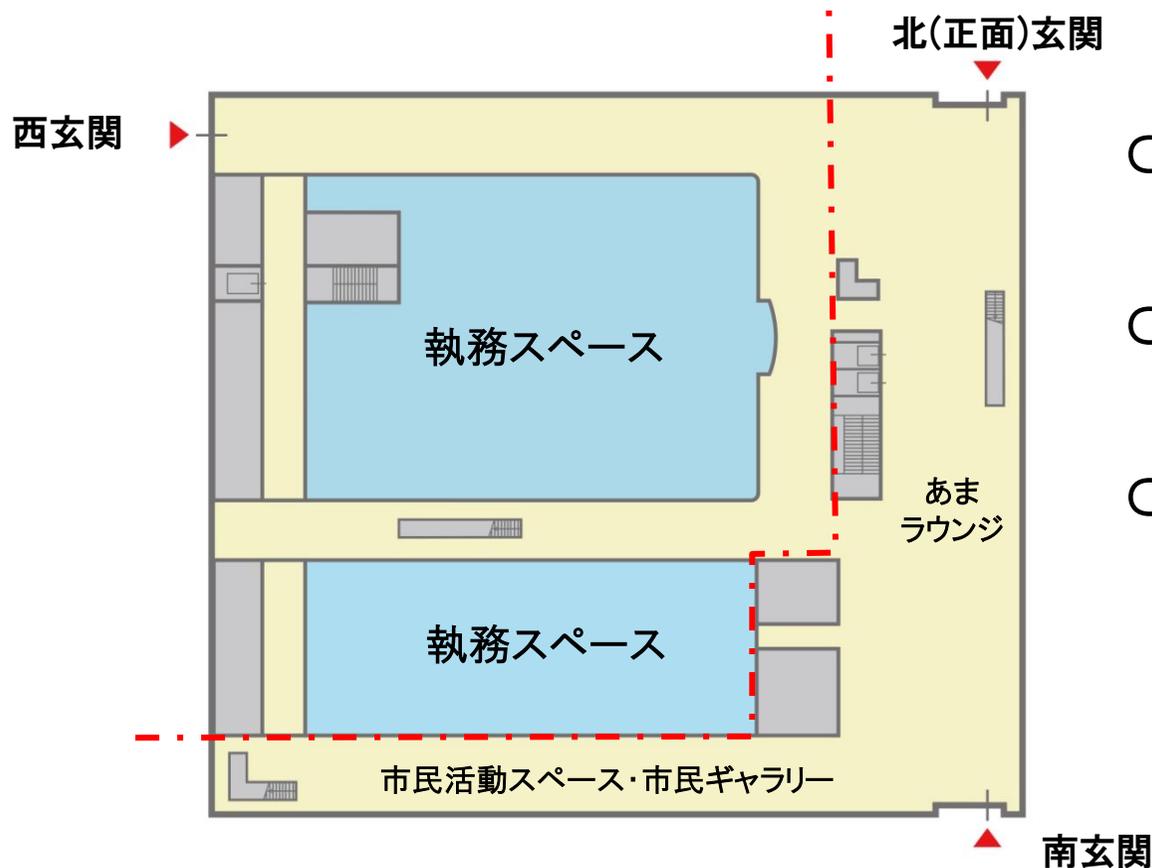
※現段階における(案)ですので、今後の調整によって内容は変更します。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《各階平面（案） 1階》 セキュリティライン



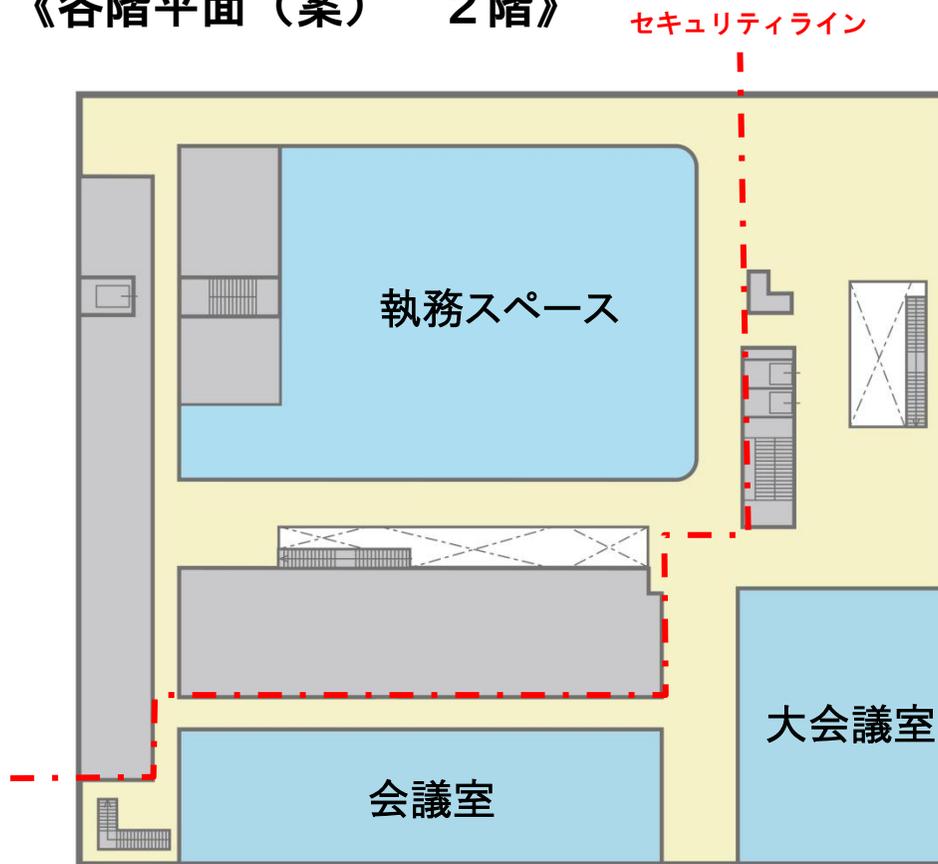
- 市民利用の特に多い 窓口部門を
1階へ集約
- 窓口執務空間は、極力ひとまとまり
の大空間とする
- 1階ラウンジ、市民活動スペース及び
2階会議室は、時間外・休日の市民
開放を想定

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《各階平面（案） 2階》



○ 窓口部門及び大会議室・会議室を配置

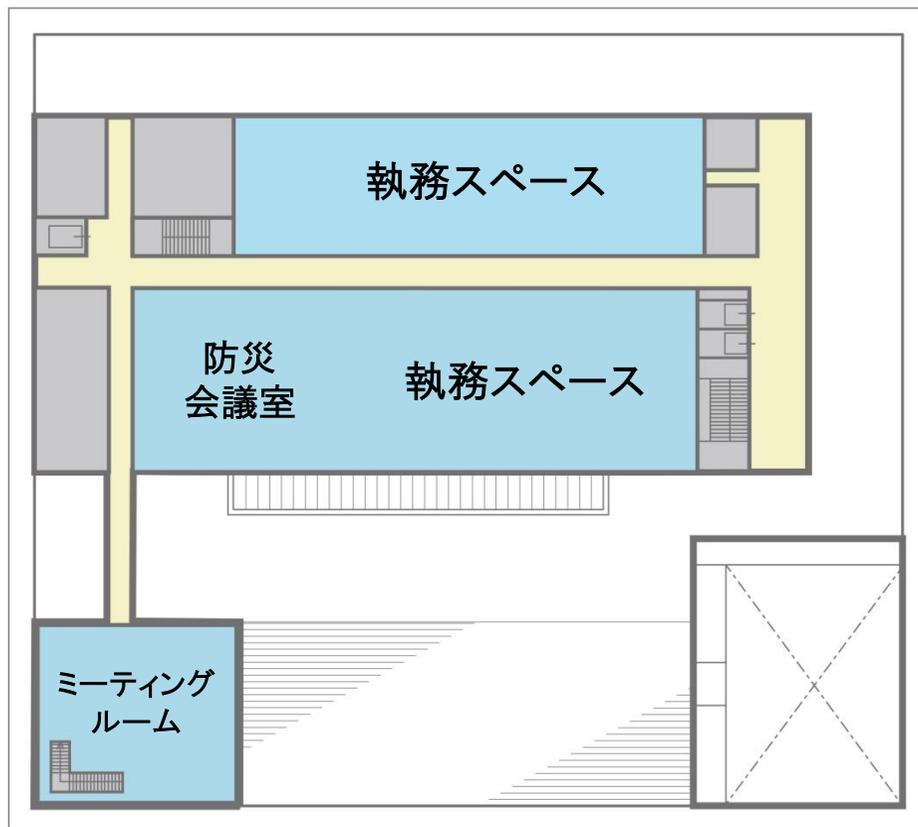
※現段階における(案)ですので、今後の調整によって内容は変更します。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《各階平面（案） 3階》



○防災会議室(災害対策本部機能)を
始め、内部管理部門の配置を想定

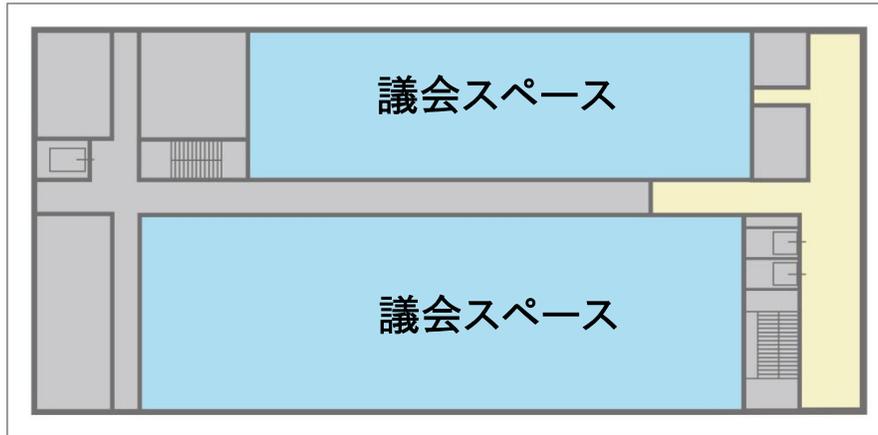
※現段階における(案)ですので、今後の調整によって内容は変更します。

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《各階平面（案） 4階》



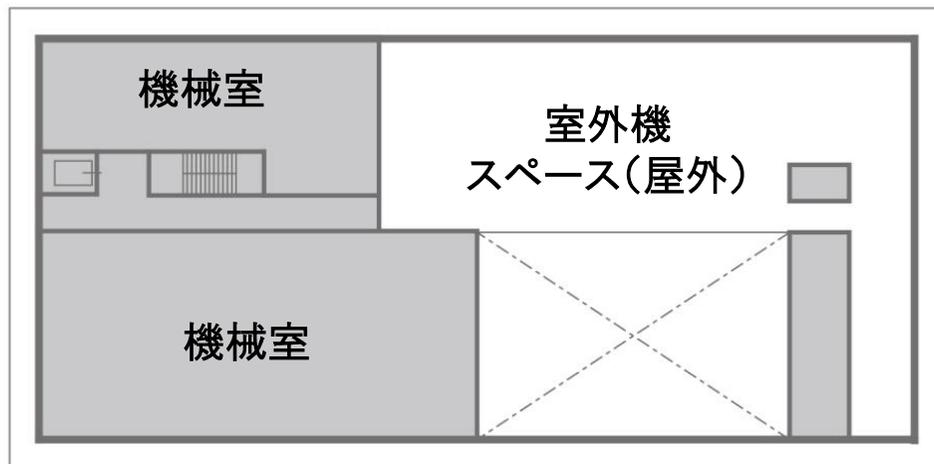
○議会フロアに関しては、先進事例等を参考に、順次、議会と調整しながら、レイアウトを検討

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(6) 平面計画に関する検討

⑤ 執務スペースに関する検討

《各階平面（案） 5階》



- 機械室(災害対策用通信機器等を含む)や室外機等のスペースを配置

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(7) 市民ミーティングに関する報告

第5回 平成29年6月11日（日）

「新庁舎での市民協働をかんがえる」

新庁舎の配置・外観イメージや市民協働の活動に係る説明を行った後、各グループにて配置計画を基に、庁舎や広場の使い方について、話し合う。



3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(7)市民ミーティングに関する報告

「新庁舎をどのように活用したいかの意見(まとめ)」

■庁舎機能

市民活動センターを目立つ位置に設置、休日の会議室開放、フリースペースの有効活用、市民情報など掲示板の充実、キッズスペース、100円カフェ、七宝焼の活用

■広場機能

自然豊かな広場、季節の花、舗装材の検討、児童の遊び場、出入口を増やす、マルシェ、季節ごとのイベント、植栽手入れや清掃ボランティア運営の仕組み

■その他

維持管理費や将来の改修費を抑制する工夫や配慮が反映された整備、中高生・子どもが来たくなる庁舎

3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(8) 経済性に関する検討

① 建設工事の発注方式

| 区分 | 設計施工分離方式 | 設計施工一括方式 【デザインビルド(DB)方式】 | ECI方式 |
|--------|------------------------------------|-----------------------------|---|
| 特徴 | ○実施設計、積算後に設計成果に基づいて施工発注を行う方式 | ○実施設計と施工を一括で発注を行う方式 | ○実施設計の早期段階から施工者等が参画し、施工の実施を前提として設計に対する技術協力を行う方式 |
| メリット | ○市の意向が反映されやすい ○受注者選定に多くの時間を要しない | ○入札不調になりにくい | ○入札不調になりにくい |
| デメリット | ○入札不調によるリスク増 | ○実施設計未完了での設計・施工者の選定による増額リスク | ○発注者側の高い調整能力が必要 |
| 他自治体事例 | ○愛西市、清須市他多数自治体にて事例あり | ○千葉県習志野市 ○千葉県浦安市 | ○愛知県新城市 |

○工事発注については、多額な事業費を伴うことに加えて、市民参加型の庁舎づくりという視点においても、市民の関心も高いことから、更なる透明性、客観性、競争性が必要となる。

○また、高品質かつ低コストで中枢防災拠点として安全に長期間の使用に耐えうる庁舎を建設するためにも、高い技術力と安全管理能力を持つ施工者の選定が必要となる。

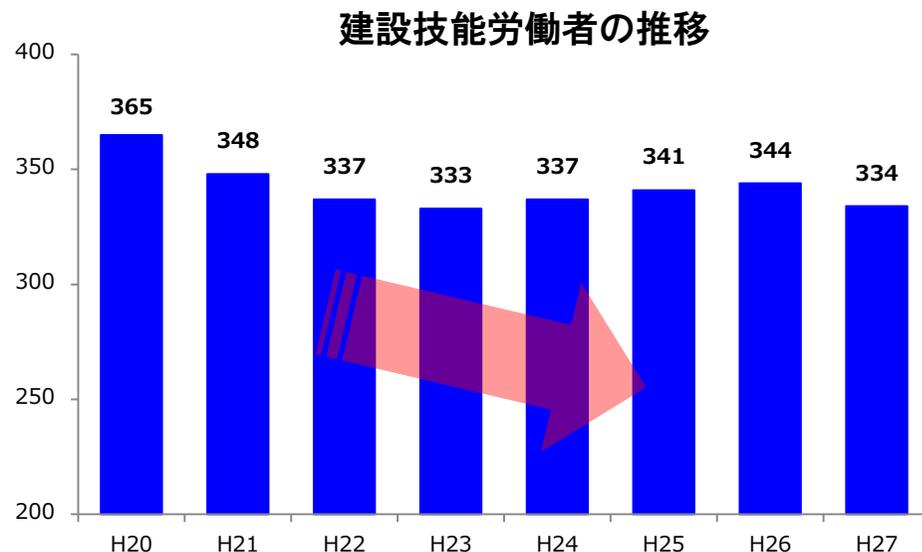
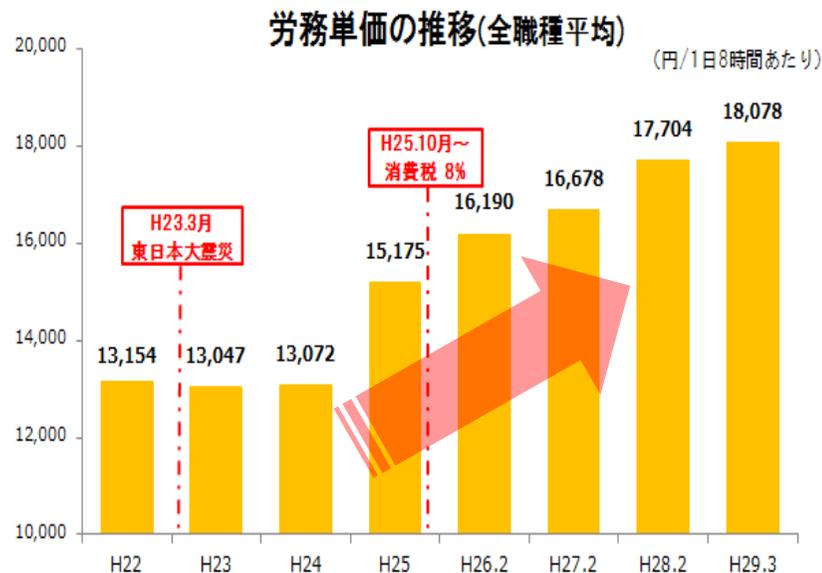
3. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(8) 経済性に関する検討

② 事業費に関する検証

○東日本大震災の復興需要や東京五輪の建設需要などの社会情勢により、全国的に建設費が上昇傾向にある一方で、昨今の熊本地震や関東・東北豪雨といった自然災害を踏まえた防災拠点としての更なる充実強化を考慮すると、建設費の大幅な増加が見込まれます。

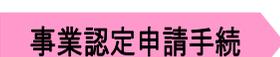
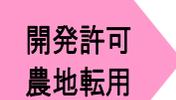
○地盤改良費、周辺インフラ整備費、備品等の費用を含め、庁舎整備において真に必要な機能の整理を引き続き進めて、概算事業費を取りまとめてまいります。



(総務省：労働力調査より)

4. 事業スケジュールについて

(1) 全体スケジュール

| 区 分 | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----------|------------|--|--|---|--------|--------|--------|
| 新庁舎整備事業 | 法手続き・許認可関係 |   |  |  | | | 開 庁 |
| | 設計工事関係 |    | | | | | |
| | 用地関係 | |  | | | | |
| 周辺道路整備事業 | 設計工事関係 | |   | | | | |
| | 用地関係 | |  | | | | |

※このスケジュールは現時点のものであり、今後の各種手続き等により変更する場合があります。

4. 事業スケジュールについて

(2) 基本設計スケジュール（平成29年度）

